

令和 7 年 3 月 25 日

日中サービス支援型共同生活援助の報告・評価シートの提出について  
(令和 6 年度分)

芦屋市市長

所在地 兵庫県芦屋市高浜町 1 - 7 2 階  
法人名 社会福祉法人 山の子会  
代表者名 理事長 岸野雅方

上記の件について、下記及び別添のとおり提出します。

## 記

## 1 報告・評価シートを提出する事業所

事業所番号	事業所名	新規
28210000045	咲楽（日中サービス支援型共同生活援助）	○

※今年初めて提出する事業所については、新規欄に○をつけてください。

## 2 本件に関する連絡先

担当者名	管理者 瀧中賢一
連絡先	0797-31-3252

報告・評価シート

【報告日 令和7年3月25日】

【評価日 令和 年 月 日】

事業所名 咲楽

項目	【事業所記入欄】										
1 施設概要	事業者名	咲楽			人員配置	日中					
	指定日	2018年	12月	1日		世話人	生活支援員				
	所在地	芦屋市高浜町1-7 2階				9人	2人				
	定員数（共同生活援助）	8人				（常勤換算後）	（常勤換算後）				
	定員数（短期入所）	2人				1.2人	2.0人				
	共同生活住居数	1戸				看護職員の配置	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		0人		
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】			夜間 ※令和6年5月～2名体制					
	住居名：咲楽	8名				世話人（夜間）	生活支援員（夜間）				
	住居名：のび・のび（併設）	2名				12人	0人				
	住居名：	名				（常勤換算後）	（常勤換算後）				
	住居名：	名				2.8人	0人				
	住居名：	名				看護職員の配置	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		0人		
	事業所の特色・独自の取組										
2 利用者状況 (令和7年1月1日 現在)	障害支援区分	人数			内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）					
	非該当	人				身体	総数：	0人			
	区分1	人					主に日中GHで過ごす人数：	0人			
	区分2	1人				知的	総数：	8人			
	区分3	1人					主に日中GHで過ごす人数：	1人			
	区分4	2人				精神	総数：	1人			
	区分5	2人					主に日中GHで過ごす人数：	1人			
	区分6	2人				難病等	総数：	人			
	合計	8人					主に日中GHで過ごす人数：	人			
	年齢構成	・60歳以上 1人 ・50歳代 3人 ・40歳代 0人 ・30歳代 3人 ・30歳以下 1人									
障害特性等	医療的ケアの必要な者			0人	重度支援者（強度行動障害含む）			4人			

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価 (問題がない場合は□にチェック)
3 地域に開かれた運営	利用者に対する指定計画相談支援の提供は別法人が行っているか。	(別法人等による指定計画相談支援の提供状況) 別法人 8名中8名	■ 問題なし
	実習生やボランティアを受入れているか。	(受入人数) ボランティア3名 (受入事例) 芦屋市シルバー人材センター所属の手品サークルによる催しを8月に開催。	□ 問題なし
	地域住民との交流の機会が確保されているか。	(交流機会の事例) 障がい者作品展、夏祭り、一芸披露会、ボランティアサークルのイベント参加。	■ 問題なし イベントの情報は施設内の掲示板で周知されている。また個別に周知するなど、各利用者の特性に配慮しながら周知されている。
4 常時の支援体制の確保	日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	(職員の配置状況等) 常時1名以上配置済み。 ※11:00~16:30 人員2名配置、その他7:00~11:00と16:00~20:00 利用状況に応じて2名配置	■ 問題なし
	災害時における、利用者への安全対策(マニュアル作成等)を講じているか。	(安全対策(マニュアル)や避難訓練の実施等の事例) 消防計画、避難確保計画あり。 業務継続計画に基づく訓練実施済み。 避難訓練4月、9月実施済み。 災害時情報共有システム訓練5月実施 →8月台風10号被災状況報告済み。 →2月大雪被災状況報告済み。	■ 問題なし 避難訓練について1回は施設全体での訓練、1回はGHのみでの訓練を実施している。
	体調急変等への支援体制が確保されているか。迅速に対応したか。	(緊急時の対応方法(急な体調変化等)) 保護者に連絡を行うと共に、掛かりつけor協力医療機関への通院を行う。緊急連絡網あり。	■ 問題なし 内科、歯科と協力医療機関の体制を確保されている。特に歯科は月1回の往診機会が確保されている。

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価 (問題がない場合は□にチェック)
	利用者の嗜好を考慮した献立を基本とし、それぞれの心身の状況に応じた食事提供・支援しているか。	(心身状況等を考慮した食事提供) 利用者のリクエストに応じて食事メニューを作成。骨取りや骨なしの魚提供、誕生日とクリスマス食あり。	■ 問題なし 刻み食など対応しており、かつ利用者によっては自助箸やスプーンなど利用者の状況に柔軟に対応している。
5 短期入所の併設	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	(通常受入人数) 2名	■ 問題なし
	緊急・一時的な支援等の受入に対応しているか。	(緊急受入人数) 1名(9月と1月:計2回) (緊急受入事例) 神戸市東灘区男性1名 定期利用先が満床のため。	□ 問題なし
6 支援の実施・質の確保	充実した地域生活を送るため、外出や余暇活動等の支援をしているか。	(外出や余暇活動等の事例) ・買い物、初詣、図書館、福祉センター等同行。 ガイドヘルパーとの連絡調整。 ・植物を育てる。 ・健康促進のため近隣の散歩。 ・イベント等の案内や障がい者作品展への出展。	■ 問題なし
	支援の質の確保に努めているか。(研修等)	(参加した研修名等) ・障がい等従業者向け虐待防止研修1名(他回覧) ・救命研修 4名 ・メンタルヘルス研修 1名 ・衛生研修 1名 ・サービス管理者基礎研修 1名 ・強度行動障害支援者養成研修 1名 ・化学物質管理講習 1名 ・障害福祉関係指導監督職員研修 1名	■ 問題なし 受講できなかった職員のために、回覧や内部研修などで共有し、支援の質の確保に努めている。

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価 (問題がない場合は□にチェック)
	体験的利用の要望に対応しているか。	(体験利用人数) なし (体験利用の事例) なし	□ 問題なし 満床のため体験利用への対応はできない状況だが、空床が生じたときには積極的に対応いただきたい。
	改善や見直しに取り組んでいるか。	(事業所における課題・助言を求めたいこと) ・満足度アンケートの実施。別添資料あり。 ・ご意見箱の常設。  (利用者・家族からの意見・希望) ・服薬の管理希望→希望者は管理へ。 ・定期通院の希望→5名定期通院実施。 他は、必要に応じて家族が同行。  (地域連携推進会議) 設置要綱は作成済み。令和7年度開催予定。	□ 問題なし 地域連携推進会議の設置要綱が策定されていることを確認した。令和7年度からの実施に向けて、委員の選定に着手していただき、利用者と地域の人の顔の見える関係を構築するなどサービス水準の向上を図っていただきたい。
7 利用者の権利擁護等への配慮について	利用者の金銭管理については、本人同意の上、帳簿等により適切に管理されているか。また、判断能力が著しく低い利用者については、成年後見制度の利用等の支援を行っているか。	(金銭管理の支援方法) ・預り金管理規程あり  (成年後見制度の利用支援及び利用者数) ・利用支援事例等(☑有 □無) ・有の場合の支援内容記載(利用者数1人) 預り金の残高を報告。また購入した際の領収書等を後見人(保佐人)へ手渡し。本人の様子や通院状況等の報告。	■ 問題なし

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価 (問題がない場合は口にチェック)
	利用者のプライバシーに配慮した支援となっているか。(個人情報の管理、複数の選択肢の提供、自己決定・家族の合意等)	<p>(利用者に配慮した支援、取組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本人部会(サクラ会)設置済み</li> <li>希望によるマクドナルド等の外食実施。</li> <li>外食イベントを企画中。</li> <li>・ 衣服購入希望者への買い物同行。</li> <li>・ 高齢家族による通院負担が大きいため、かかりつけ医の変更を行い、職員等と通院へ変更。</li> </ul>	<p>■ 問題なし</p> <p>本人の意思・希望をくみ取る機会として、本人部会という独自の制度を運用しており、職員は運営補助に回るなど、円滑な運用に資している。</p> <p>個人情報の管理については施錠されているキャビネットに保管されており、施設自体に施錠ができるためセキュリティは確保されている。</p>
	虐待等の権利侵害の防止、発生時の対応は適切か。	<p>(虐待等に関する研修の受講状況)</p> <p>虐待防止研修全職員研修受講済み。</p> <p>虐待防止委員会設置済み 令和6年12月開催。</p> <p>(虐待発生時の対応、発生後の対応等)</p> <p>管理者への連絡等にて対応。重要事項説明書に担当者の記載あり。</p>	<p>■ 問題なし</p>
8 入居/退去状況について	報告/評価対象年度中において、退去理由の確認及び入居時に適切な判定(流れ)が行われているか。	<p>(報告・評価対象年度の入居者数) 0人</p> <p>(報告・評価対象年度の退去者数及び事由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 退去者数 0人</li> <li>・ 主な退去事由：該当なし</li> </ul>	<p>■ 問題なし</p> <p>退去予定者の発生などに備え、随時、基幹相談と現状について情報共有を図っている。</p>



項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価 (問題がない場合は□にチェック)
12 その他	<独自に定める項目を記載>		<input type="checkbox"/> 問題なし
13 (2回目以降) 協議会からの 要望、助言へ の対応	要望や助言に対応しているか。	(要望・助言の内容及びその対応)	<input type="checkbox"/> 問題なし